

令和6年度 川西市防災訓練 実施報告書



日時：令和6年11月30日（土） 9時00分から12時00分まで
場所：川西市立多田東小学校

かわにし^新時代へ

川西市

令和6年度川西市防災訓練 実施報告

1 訓練の参加者について

(1) 地域【多田東地区】

《内訳》避難所運営訓練参加者	約50名
地域役員・運営関係者	約50名
地域一般参加者	約50名
小計	約150名

(2) 学校【多田東小学校】

《内訳》小学生	214名
保護者	433名
先生	30名
小計	677名

(3) 市・訓練関係期間

《内訳》川西市	36名
関係機関（消防団含む）	90名
小計	126名

約953名

2 避難所運営訓練（9時00分～9時55分）

(1) 訓練目的

多田東コミュニティ協議会自主防災会が作成した地区防災計画を基に、避難所運営訓練を実施し検証することで、実災害発生時に迅速かつ的確に対応できることを目的とする。

(2) 訓練内容

8時20分ごろ、和歌山県沖を震源とするマグニチュード9の地震が発生し、本市においても震度6弱を観測、多大な被害が発生していると想定する。

訓練参加者は、各自で避難経路等を確認しながら、避難所である多田東小学校体育館に集合する。

体育館到着後は、随時、受付を行なった後に「シェイクアウト訓練」「間仕切りテントや段ボールベッド、簡易ベッドの作成」を行なう。

また、ペット避難に関するブースも設け、ペット避難に関する知識も深める。

(3) 訓練参加者

川西市地区対策班（多田地区） 3名

避難所運営訓練参加者 約50名

地域役員・運営関係者 約50名

※危機管理課職員1名が訓練補助にあたる

(4) 訓練の様子



【会場の様子①】



【会場の様子②】



【受付の様子①】



【受付の様子②】



【間仕切りテントの作成】



【段ボールトイレの作成】

2 開会式（10時00分～10時10分）

川西市 越田謙治郎市長 挨拶

多田東コミュニティ協議会 森会長 挨拶



【越田市長 挨拶】



【森会長 挨拶】

3 救出救助訓練（10時15分～10時35分）

（1）訓練想定・訓練目的

和歌山県沖を震源地とするマグニチュード9の地震が発生し、本市においても震度6弱を観測。

その後、多田東地区にて土砂災害が発生。車両及び住民複数名が土砂に巻き込まれた想定で、市消防本部、川西警察署、陸上自衛隊が対応し、関係機関との連携強化に務め、実災害に備える。

※兵庫県消防防災航空隊のヘリコプターは多田東小学校の上空を飛行。

（2）訓練参加者

川西市消防本部	3台	10名	
川西警察署	1台	5名	
陸上自衛隊	1台	5名	
兵庫県消防防災航空隊	1機	6名	※ヘリコプター

（3）訓練の様子



【消防本部の様子①】



【消防本部の様子②】



【川西警察署の様子①】



【川西警察署の様子②】



【陸上自衛隊の様子①】



【陸上自衛隊の様子②】

4 防災個別訓練（10時40分～11時45分）

（1）訓練目的

防災に関する様々なブースを体験し、市民の防災意識を高め、実災害に備える。

（2）働く車の展示

- ・給水車（上下水道局）
- ・スモールタンク車、救急車（消防本部）
- ・パトカー、白バイ（川西警察署）
- ・RAV車、高機動車、バイク（陸上自衛隊）



【上下水道局の様子①】



【上下水道局の様子②】



【消防本部の様子①】



【消防本部の様子②】



【川西警察署の様子①】



【川西警察署の様子②】



【陸上自衛隊の様子①】



【陸上自衛隊の様子②】

(3) 防災教育ブース（体育館）

事前に参加希望をした小学6年生を対象に「段ボールベッド」や「間仕切りテント」を作成する。※約30名の小学生6年生とその保護者が参加する



【間仕切りテントの様子】



【段ボールベッドの様子】

(4) 防災体験ブース (グラウンド)



【防災相談所（かわにし防災士の会）】



【災害救助犬の紹介(日本レスキュー協会)】



【ドローン展示(ふるさと創生研究開発機構)】



【お薬相談（川西薬剤師会）】



【防災クイズ（川西明峰高校防災ジュニアリーダー）】



【能登半島地震 災害救助・支援活動&南極の氷】



【土石流模型装置、降雨体験装置（兵庫県治山林道協会）】



【煙体験ハウス（川西市消防団 第5分団）】



【初期消火訓練（川西市消防団 第5分団）】



【地震体験車（モビリティープラス）】

（5）心肺蘇生（AED）・多田東地区災害史講話



【心肺蘇生（AED）】



【多田東地区災害史講話】

5 炊き出し（11時10分～無くなり次第終了）



【多田東コミュニティ協議会 カレー350食】



【川西地区給食研究会 豚汁300食】

※川西明峰高校防災ジュニアリーダーが配膳補助として活動



【陸上自衛隊 豚汁300食】

6 閉会式（11時50分～12時00分）

川西市 越田謙治郎市長 訓練講評

多田東コミュニティ協議会自主防災会 東畑会長 挨拶



【越田市長 訓練講評】



【東畑会長 挨拶】

7 備蓄食の配付



8 【参考】多田東小学校 授業参観（6年生が防災等に関する授業を実施）



【心肺蘇生】



【多田東地区災害史講話】

9 訓練総評

本市の防災訓練は、令和元年度まで東久代運動公園で実施していたが、昨年度から大幅に内容を変更し、地域と協働で実施する訓練を行なっている。

今年度は「多田東コミュニティ協議会」と協働で防災訓練を実施した。

多田東地区の防災訓練は毎年12月頃に多田東小学校で実施されており、参加人数の規模としては運営側を含め100名程度で、その多くは高齢者であった。

市や地域としては、訓練運営者や参加者の高齢化は課題の1つであり、まずは、地域の若い世代に会場まで足を運んでもらい「防災訓練」や「地域の活動」を知ってもらう必要があった。

このような課題をかかえる中で、今回、多田東小学校の協力により、防災訓練当日の土曜日に「授業参観」を実施してもらえることとなり、授業参観終了後、運動場で開催している防災訓練に参加しやすい環境をつくっていただいた。

多田東小学校は約580名の生徒が在籍しており、授業参観となれば保護者を含め、1000名以上の若い世代が集まることとなる。

市や地域としては、まずは「子どもやその親が行ってみたいと思う防災訓練」をテーマに、半年以上かけて「市」「地域」「学校」の3者で協議を進めながら訓練内容を計画した。

結果的には、非常に多くの方が会場に集まり、幅広い世代の方々が「防災」に携わることができ、地域の活動を知ってもらうことができたのではないかと感じた。

それと同時に、今回参加した多くの若い世代が、来年度以降、地域の防災訓練にどう携わっていくかの動向に注目しなければならない。

また、昨年度と同様に地域と半年以上、協議を重ねたことで、地域の特性、防災体制、防災力などを深く知ることができ、大規模災害時に、その地域がどのような体制で動いていくのかイメージができたことは、市として非常に大きな成果であった。

来年度以降も引き続き、新たな地域で、その地域にあった防災訓練を実施し、市と地域の課題解決に努めていく。